



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱいやりぬく子

南条小学校だより R1.10.8 No. 56

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

○ 指導主事訪問（2回目）

10月3日（木）、指導主事による学校訪問がありました。指導主事訪問というのは年に2回あり、教育委員会の指導主事が郡内の各小中学校を訪れ、授業に関していろいろと指導を行うことで、当日は、1年1組、2年2組、5年1組、6年1組、なかよし学級の道徳の授業に対していろいろと指導していただきました。

【1年1組 個性の伸長】

・**主題名** 自分のこと
・**教材名** 「ぼくのこと きみのこと」
教材中のりくさんの良いところはどこかについて話し合った後で、自分の良いところを友達に見付けてもらいました。自分の良さに気付くことや、友達の良さに気付いたり誉めてあげたりできることは、とても大切なことです。



【2年2組 生命の尊さ】

・**主題名** 生きていること
・**教材名** 「だっこしながら」
教材中の赤ちゃんの様子から、生きているってどんなことかを考え、家族から聞いてきた自分の誕生時のエピソードについて感じたうれしさを伝え合いました。また、「生きている良かった」と思う時を振り返りました。生命の大切さや生きていることのすばらしさ、家族の愛情に気付いてくれると良いです。



【5年1組 正直、誠実】

・**主題名** 誠実な生き方
・**教材名** 「手品師」
教材中の手品師が、男の子に「明日も手品を見せてあげる」という約束を守るために、突然やってきた大劇場出演のチャンスをつかみました。自分が手品師だったらどう返事をするか、手品師になりきって役割演技を行いました。男の子との約束を果たすか、夢を実現させるか、とても判断に迷う場面です。



【6年1組 正直、誠実】

・**主題名** 自分の心に誠実に
・**教材名** 「のりづけされた詩」
教材中の和枝は、友達から詩を作るのが上手だと思われており、友達に良い顔をしたいために、他人の詩の一部を使ってしまいました（盗作）。
自分が和枝だったら、「本当のことを言う」か、それとも「言えない」かについて話し合いました。正直に話す方が良いことだとは分かっているものの、とても苦しい場面です。



【なかよし学級 善悪の判断、自律、自由と責任】

・**主題名** 今すぐ先に
・**教材名** 「大切なことから 今すぐ先に」
教材中の三人は、それぞれ大切なことを後回しにしてしまい、後悔します。
みんなで、「大切なこと」とは何かについて考え、「大切なこと」は、「今すぐ先にする」ことだと気付きます。



「あとまわしおぼけ」が出てきたら、いったいどんな言葉で退治したら良いでしょうか。「あとまわしおぼけ」がすぐに逃げていくような強い気持ちの言葉をかけられるようにしたいものです。

○ 後期児童会役員選挙

10月4日（金）、後期児童会役員立候補者による立会演説会と選挙が行われました。どの候補者・応援演説者も礼儀正しく、大きな声で、自分の考えを堂々と述べる事ができていました。14人それぞれのとても立派な姿に、心から拍手を送りたいと思います。



○ 保健委員会発表

10月7日（月）、全校集会の時に、保健委員会による「危険な場所」についての発表がありました。普段あまり意識していないと思いますが、学校の中や外には、使い方を間違えると、大きな事故につながる場所や物がたくさんあります。十分に気を付けて生活していきましょう。

